

2021年9月10日

NPO 法人やんばる・地域活性サポートセンター

NPO 法人どうぶつたちの病院 沖縄

イオン琉球株式会社



～奄美・沖縄世界自然遺産登録記念～

「奇跡の森 やんばるの生き物&ロードキル防止 写真展」

9月11日(土)～9月21日(火)までイオン名護ショッピングセンターで開催。

イオン琉球(株)(本社:南風原町、代表取締役社長:大野恵司)は、NPO 法人やんばる地域活性サポートセンターとNPO法人どうぶつたちの病院 沖縄主催の「奇跡の森 やんばるの生き物&ロードキル防止写真展」を9月11日(土)～9月21日(火)までの11日間、イオン名護ショッピングセンターにて開催します。

2021年7月に世界自然遺産登録された奇跡の森といわれる沖縄本島北部やんばるの森には、ヤンバルクイナやオキナワイシカワガエルなどこの地にしかない固有種が多く生息し、希少な野生生物たちが暮らしています。

一方、やんばるの野生生物は外来種に襲われたり、交通事故(ロードキル)等で傷つくことも多く、負傷した野生生物を救命救護する活動も行われています。しかしながら、救護施設は満床状態が続いており、野生復帰のためのリハビリ(療養)ケージが不足しています。こうした中、NPO 法人やんばる地域活性サポートセンターとNPO法人どうぶつたちの病院沖縄は協働して、来秋に向けリハビリセンター建設を予定しています。この度、世界自然遺産登録を記念し、やんばるの生き物を紹介する写真家、湊和雄さんの写真展を開催することで、やんばるの素晴らしい自然と生態系の周知、ロードキル防止の普及啓発につながればと考えております。

当社は、SDGs(持続可能な開発目標)17のうちの15番目にあたる「陸の豊かさを守ろう」という精神の下、今後も沖縄県内の環境団体と連携・協働して必要な支援活動を行ってまいります。

記

「奇跡の森 やんばるの生き物&ロードキル防止写真展」概要

- 実施期間 : 2021年9月11日(土)～9月21日(火)
展示時間 : 9:00～22:00 (最終日は12:00まで)
実施場所 : イオン名護店 ベスト電器前催事場(名護市名護見取川原4472)
実施内容 : ・写真家 湊 和雄さん写真展示
・ロードキルの実態と防止の啓蒙
・やんばるの野生生物のリハビリ施設建設支援活動PR
主 催 : NPO法人 やんばる・地域活性サポートセンター
NPO法人 どうぶつたちの病院 沖縄
協 力 : イオン琉球株式会社

【ご参考】

NPO 法人やんばる・地域活性サポートセンターについて

所在地：沖縄県国頭村字安田 代表：比嘉 明男

2009年、長年に渡る野生生物の保護活動や地域づくり活動の発展形として、安田区民有志で設立。先人達が命懸けで守り育てた自然環境と地域資源を活用し、安田区の将来ビジョンを描くため、2012年に安田区は「ヤンバルクイナの郷」を宣言。指定管理する「安田くいなふれあい公園」を拠点に外部組織と協働し「ヤンバルクイナと共生した地域活性化」「地域資源を有効に活用した産業の振興」「東部地域における体験型教育・観光拠点づくり」「山村留学を通じた若年齢層の定住化促進」など、多様な活動に取り組んでいる。



NPOやんばる・地域活性サポートセンターが管理している
ヤンバルクイナ生態展示学習施設 クイナの森

NPO 法人どうぶつたちの病院 沖縄について

所在地：沖縄県うるま市前原 代表：長嶺 隆

琉球弧に生息する希少な野生動物を守るため、ヤンバルクイナやイリオモテヤマネコなどの沖縄だけに生息し絶滅の危機にある野生動物の保護活動を行っています。

設立当初は、ヤンバルクイナの交通事故からの救命救護からスタート。以前と比べヤンバルクイナの生息数が減っているため人工繁殖技術の確立に取り組んでいる。ペットの適正飼養の普及を通じてヤンバルクイナやイリオモテヤマネコ等の野生動物の生息環境を脅かすノネコを減らす「やんばる&西表プロジェクト」を実施している。



ヤンバルクイナを診療する様子

※第26回イオン幸せの黄色いレシートキャンペーン参加団体として登録されています。

レシート投函店舗：イオン具志川、MV泡瀬、MV知花、MV屋慶名、MV高原、ザ・ビッグ田場

写真家 湊 和雄さんについて

1959年東京生まれ。1978年琉球大学農学部(昆虫学教室)入学に伴い沖縄に渡る。琉球大学大学院修士課程(昆虫生態学専攻)修了。

大学資料館勤務を経て、1994年よりフリーランスの写真家。第1回準アニメ賞、第15回沖縄タイムス出版文化賞受賞。SSP 副会長。

<著書>

沖縄やんばる フィールド図鑑

世界自然遺産やんばる 希少生物の宝庫・沖縄島北部
ほか多数



写真家 湊 和雄さん